

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されており。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		それぞれの児童の活動に合わせた空間づくりを心掛けております。毎日、清掃と教材や玩具の消毒、故障等がないかの確認をおこないながら整理整頓をおこなっております。また、なるべく大きな物や高さのある物を教室内に置かないよう配慮しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	7		衛生管理を徹底し毎日の清掃・消毒をおこない、快適な空間づくりに努めております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		利用児童の様子に合わせて安心して過ごせる部屋や環境を整えております。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また定期的な会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などについて職員が情報を共有できるように図っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りをおこなうことで業務改善につなげております。評価にあるご意見やご要望については、改善に向けて職員間で話し合い、内容を共有しながら取り組んでおります。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎朝ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について確認するとともに、職員間で意見交換をおこないながら業務改善につなげております。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者が作成した計画書を基に全職員で話し合い支援をおこなっております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に基づく支援となるように会議にて活動内容を決定、実行しております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しています。ツールには児童の意思表出の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解など細かく書けるようになっております。	
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		ケース会議をおこない、児童一人ひとりの支援内容について意見を出し合ったうえで療育で取り組む課題をチームで設定しております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		定期的におこなう固定プログラムのほか、季節の行事や児童の興味に配慮したプログラムも取り入れ、楽しく意欲的に活動ができるよう工夫をおこなっております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っています。また職員が関わりの中に入って個別と集団を組み合わせた工夫を随時おこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について対応を確認しております。	
	21 支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7		次の支援のために必要な振り返りにあわせて、「児童について」「保護者様について」「学校連携について」等、情報共有を努めております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援に対する記録は、療育担当者が必ずおこない、切れ目のない支援に役立てております。記録はケース会議などで振り返り、今後の目標設定に活用しております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しの必要性を判断しております。児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しの時期を把握し、時期に合わせて、面談で聞き取りをおこない、次回目標設定を検討しております。送迎時の保護者様との会話からもご意見として参考させていただいております。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参加しております。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		現在は医療的ケアが必要な児童は在籍していませんが、協力医療機関や障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携し、適切な支援体制を整えております。	
関係機関や保護者との連携	26 伊利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		担当者会議を通じて情報提供・共有をおこなっております。引き続き、関係機関への訪問等を通じて直接的な情報交換がおこなえるよう努めてまいります。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		関係機関が集まり、担当者会議をおこない、スムーズに移行できるように努めております。	
	28 (28～30は、センターのみ回答)				
	29 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となり関係機関との会議や研修に参加しております。研修で得た情報については職員間で共有し、日々の支援に活かせるよう努めております。	
	30 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7			
	31 (31は、事業所のみ回答)				
	32 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		ご利用されている多くの児童は保育園や幼稚園に通っており、個々の障がいのない児童との交流ができていると考えております。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		ご利用の都度、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしております。また、送迎時に保護者様からのお悩みをお聞きし、事業所での様子や課題について共有することで、共通理解の促進に努めております。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法をお伝えできるよう努めております。また、療育上必要であればご家庭での協力可能な内容についてはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有しております。送迎時や連絡帳に加え、必要に応じて面談をおこない、保護者様のお悩みの解決に向けて努めております。	
36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別支援計画の作成時には保護者様との確認やお困りごとについてお話をうかがっております。また児童には療育中に自分の夢や希望が話せるように場の環境を設定しております。		
保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		モニタリングをおこない、ガイドラインが示す支援内容を踏まえた支援計画を作成し、説明と読み合わせ、丁寧な説明をおこなったうえで同意を得、サイン、捺印をいただいております。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有しております。送迎時や連絡帳に加え、必要に応じて面談をおこない、保護者様のお悩みの解決に向けて努めております。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会や交流する等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		感染症の広がりが、社会情勢の様子を見ながら検討しておりますが、今年度は保護者会を開催していません。その分事業所内での活動報告を掲示版などで積極的に発信し、連携を図っております。	開催については、周囲の状況に留意しながら保護者様のご意向を確認しながら検討し、決定してまいります。
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		こちらからお声掛けをおこない、保護者様からのご意見や申し入れがあった場合には適切に対応しております。また、担当者や連絡は取りやすいよう配慮し、ご意見は職員で共有し迅速な対応に努めております。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		COMPASS発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童独自の意思表出法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。また、簡潔でわかりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけております。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		感染症のリスクも鑑みながら検討しておりますが、今後に関しましては、感染症や周回の状況を確認しつつ保護者様のご意向も踏まえて、保護者様同士や職員との交流の機会を検討してまいります。	今後も利用児童の安全や感染症の状況に留意しながら地域への働きかけを検討してまいります。
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしています。また、定期的に児童と共に避難訓練を実施しております。	
	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		非常時避難用の道具(安全ヘルメット、防災頭巾、99カード他)を常備しております。定期的に非常時を想定した話し合いや児童と一緒に避難訓練をおこなっております。	
47 事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	7		服装や、てんかん発作のある児童については必ず職員間で情報共有し、万が一のことがあった場合に備え、対処法を確認し合っております。		
非常時等の対応	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	7		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な計画を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画の作成をおこない、全職員の研修と定期的な訓練をおこなっております。	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		避難訓練は年間計画を立てて児童も参加し、定期的に実施しております。訓練の状況は連絡帳のカレンダーを通じてご紹介しております。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7		大きな事故を未然に防ぐという共通目的のもと、小さな気付きも記録に残し、全職員で共有しております。記録はフェイリングし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしております。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識の向上に努めております。また、委員を設けて定期的に開催することで、全職員への周知徹底をおこなっております。	
53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		利用契約書において身体拘束は原則としておこなわない旨を明記しております。やむを得ず必要な場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得た上で児童発達支援計画に記載し、適切に対応してまいります。		

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。